

11/20 県連組合員・役職員 政策学習会
「ビジネスと人権」をテーマに学習しました



さいたま共済会館会議室およびオンラインにて、講師に、弁護士の伊藤和子さんをお迎えし、「ビジネスと人権に関する指導原則」が私たちに求めていること、実際に起きているビジネスと人権の諸問題、問題を解決するために、私たちが考えるべきことについて学びました。8生協27人が参加しました。

7月～10月 埼玉県・さいたま市 予算執行に関する議会 会派ヒアリング
県議会3会派とさいたま市議会1会派のヒアリングに参加



埼玉県民主フォーラムヒアリング
2026年度埼玉県予算編成および行政執行に関する要望について、埼玉県議会の無所属県民会議と埼玉民主フォーラム、公明党議員団の3会派のヒアリングに参加しました。また、さいたま市議会「立憲民主・無所属の会」からも案内があり、ヒアリングに参加しました。

10/23 第2回 災害対策委員会
埼玉県災害ボランティア団体ネットワーク「彩の国会議」について学習しました



講師 彩の国会議副代表幹事 大澤サユリさん
埼玉県生協連第2回災害対策委員会が開催され、冒頭に、埼玉県生協連が加盟する「彩の国会議」について、副代表幹事の大澤サユリさんをお迎えし、災害支援中間組織である団体について学習しました。

11/20 埼玉県消費生活功労者 表彰式
会員生協と県生協連から5人が表彰されました



埼玉県消費生活功労者表彰式が埼玉県知事公館で行われ、消費者団体や消費生活協同組合の活動を通して消費者の利益のために取り組んでこられた12人の方が表彰されました。会員生協からは、山本哲朗さん(生活協同組合コープみらい)、三田謙二さん(コープデリ生活協同組合連合会)、蟹澤瞳さん(さいたま住宅生活協同組合)、金井浩さん(埼玉県済生活協同組合)、埼玉県生協連から小田好美さんの5人が受賞しました。

10/5 コープみらいフェスタ inさいたまスーパーアリーナ
2025国際協同組合年をアピールしました



2025国際協同組合年の周知、協同組合を多くの皆さんに知っていただくことを目的に、2025国際協同組合年埼玉実行委員会が全国実行委員会とともに出展しました。ブースでは、協同組合に関する展示を行ったほか、クイズラリー「クイズで知っちゃおう!世界が協同組合に注目するワケ」を開催。また、あそびのコーナーでは「もじならべゲーム」を行い、多くの人に参加いただきました。埼玉実行委員会の共同代表を務めるJA埼玉県中央会と埼玉県生協連が参加しました。



11/15・16 彩の国食と農林業 ドリームフェスタ
協同組合ブースのクイズラリーには約700人に参加いただきました



クイズラリーのゴールではおかしくくを実施

協同組合間連携の一環として4会員生協(コープみらい、パルシステム埼玉、生活クラブ生協、医療生協さいたま)と埼玉県生協連が出展しました。会場となった熊谷スポーツ文化公園にぎわい広場(熊谷市)には、同時開催の熊谷市産業祭、くまがや交通安全フェアと合わせて、2日間で約7万2千人が訪れました。

SAITAMA
2026 冬号
No.96
(2026年1月発行)

県内生協の活動を写真で伝える情報誌
写真ニュース
埼玉県マスコット「さいたまっち」「コバトン」

Top News

10/30 第61回埼玉県消費者大会
全体会280人、2つの分科会には200人が参加、さまざまなテーマで学習しました



高田美恵子実行委員長による主催者あいさつ



記念講演 斉藤とも子さん

「誰一人取り残さない社会を目指して ~くらしも活動も平和であってこそ~」を大会スローガンに、第61回埼玉県消費者大会がさいたま市文化センター(さいたま市南区)およびオンラインにて開催されました。開会にあたり、20の実行委員会団体の紹介、次に高田美恵子実行委員長のあいさつがあり、今大会は実行委員会団体が3月から毎月集まって記念講演や分科会、運営などについて、ひとつひとつ話し合っ作り上げてきたこと、また、埼玉県からの後援と補助金を活用して開催していることを報告しました。気候変動による地球沸騰化が叫ばれる昨今、わたしたち消費者も一人の人間として行動したり、声を上げていくことが必要で、今日学んだことを地域や団体に広げ、消費者の権利を守るため、さらに消費者運動を大きくしていきたいと述べました。次に、来賓の堀光敦史埼玉県副知事から、大野元裕埼玉県知事のメッセージを代読いただきました。



環境分科会



消費者課題分科会での188体操

記念講演では、俳優の斉藤とも子さんに「今 わたしが伝えたいこと」と題して講演いただきました。午後の「環境」分科会は、「ゼロカーボンって何? ~よい環境を残すためにわたしたちができること~」をテーマに、助言者からの報告と実行委員会団体からの取り組み報告を行い、理解を深めました。「消費者課題」分科会は、「おしえて、どんなトラブル増えているの? ~最近の事例から~」をテーマに、2組の助言者と2組の地域での啓発活動報告を行い、特殊詐欺や消費者被害についての実態や地域での消費者被害防止の活動を共有しました。

11/27 第61回埼玉県消費者大会実行委員会と埼玉県との懇談会
実行委員会で話し合った要請書に基づき、懇談しました



あいさつする高田美恵子実行委員長



実行委員会からは21人が参加

埼玉会館会議室にて、第61回埼玉県消費者大会で確認された「埼玉県への要請書」について、実行委員会から12団体21人、埼玉県から18人が出席し、懇談しました。懇談では、要請書のうち、15項目について、県の担当部局より回答があり、それを受けて要請項目の理解を深める発言や質疑応答を行いました。



写真ニュース
バックナンバーは
こちら

CO-OP 埼玉県生活協同組合連合会



埼玉県生協連
ホームページは
こちら

10月5日、さいたまスーパーアリーナで『国際フェア』（主催：（公財）埼玉県国際交流協会）と『健康フェスタ』（主催：医療生協さいたま生活協同組合）と同時開催し、約3万人の組合員をはじめ多くの方に来場いただくなか、堀光敦史埼玉県副知事に来賓としてお越しいただきました。会場では159の団体が出展し、堀光先約70社による試食・販売や食の体験、国際協同組合年、被爆・戦後80年、組合員活動ブース、ステージなどをお楽しみいただきました。



11月15日(土)、さいたまスーパーアリーナにて商品展示会を開催しました。当日は組合員とご家族など、総勢1,000名を超える方々にご来場いただきました。30を超える出展ブースが立ち並び、参加者が生産者やメーカー担当者と交流を楽しみ、作り手の想いやこだわりに触れ、商品の新たな魅力を知り、商品をより身近に感じる貴重な機会となりました。また今回は、会場内に特別展示を用意し、参加者の手によって、「平和」や「幸せ」への想いが綴られたカードで、メッセージツリーが彩られました。



◀生産者とのじゃんけん大会

11月15日、これ以上ないくらいの秋晴れの1日は900名の人で賑わいました。全国から集まった生産者とも、たくさんふれあうことができ、美味しい試食、サステイナブルな体験、スタンプラリーに、「巨大ガラポン」ハズレなし!子どもたちは射的、スマートボール、クイズラリー、お菓子すくい、パン食い競争に夢中!大盛り上りのじゃんけん大会でクライマックス!地域に根ざした活動をと、ショッピングセンターの全面協力をいただいたイベントでした。たくさんの方のご協力で笑顔いっぱいの大盛況の一日となりました。



JR北浦和駅では埼玉県保険医協会と合同で25人が参加してアピール
12月12日にも一斉行動を行いました

現在、医療・介護事業所の経営は過去にないほど厳しい環境にあり、日本の約7割の医療機関が赤字だと言われています。この状況を多くの人に知ってもらい、国に改善を求めていくために、昨年10月17日に組合員・職員が県内9カ所で「地域の医療・介護を守れ！一斉宣伝行動」を行いました。「病院経営が大変だとは知らなかった」「出産施設のない自治体がこんなにあるんですね」と署名に応じてくれる人も多く、約420筆が集まりました。このままでは突然、近くの病院がなくなるかもしれません。地域医療を守るために、みなさんと一緒に国に対策を講じるよう求めていきたいです。



さいたま住宅生協本部にて

さいたま住宅生協では、設計者や専門家の協力を得て、組合員や一般の方向けに住まいの学習講座を開催しています。

秋は9月20日と10月5日に「シニアの快適・安全なリフォーム」「窓から考える防犯・断熱」「補助金を活用した賢いリフォーム」などの講座を実施し、参加者からは「分かりやすかった」「役に立つと思った」と好評でした。今後も組合員のニーズに寄り添った講座の開催を予定しています。



あいさつする近藤嘉本部長▶

昨年2025年は、国連が定める「国際協同組合年」であることから、保障を提供する生活協同組合であるこくみん共済 coop として、この国際協同組合年を盛り上げるべく、日本協同組合連携機構(JCA)の認定事業として、10月27日(月)にセミナーを開催しました。

セミナーでは基調講演「労働組合と協同組合の連携について考える～国際協同組合年を機に～」を含め3つの講演を行い、65団体91人の皆さまにご参加いただき、盛況のうちに終了することができました。



▲ベジチェックや脳年齢測定も盛り上がりました

10月15日(水)に健康フェアを実施しました。当日はコープみらいの協力のもと、握力測定、体脂肪測定、肌水分チェック、ベジチェック、脳年齢測定を行い、参加してくれた人に野菜ジュースや野菜バーをプレゼントしました。約60人の参加があり、学生だけではなく教職員も参加し、たいへん盛り上がりました。

握力測定が一番人気でした